

# 18歳意識調査 「第47回 -ウクライナ情勢-」報告書

日本財団 2022年8月5日

# 目次

調査概要	3
結果概要	4
ウクライナ情勢に対する関心	7
ウクライナ情勢に対する関心（理由）	8
ロシア制裁への賛否	14
ウクライナ支援への賛否	17
ウクライナ難民受け入れへの賛否	20
難民受け入れへの賛否	23
外国人が増えることの影響への考え	26
ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動	28
平和構築に向けた諸外国との連携への考え	38
ウクライナ情勢による日本への影響認識	39
日本による他国支援への考え	42
示唆	44

# 調査概要「18歳意識調査」 -ウクライナ情勢-

## 調査対象

全国の17歳～19歳男女

## 回答数

1,000

※性年齢別の人口比率に合わせ、下記の通り割り付けを実施。

	17歳	18歳	19歳	計
男性	168	170	176	514
女性	159	160	167	486
計	327	330	343	1,000

## 実施期間

2022年7月12日（火）～7月14日（木）

## 調査手法

インターネット調査

注記1：回答者がインターネット利用者に限られるなど、回答者に何らかの偏りが生じる可能性があり、必ずしも日本全体の17～19歳男女に妥当するものではない。

注記2：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

# 第47回18歳意識調査「ウクライナ情勢」 結果概要

## 1 全体傾向

- ① 6割以上がウクライナ情勢に「関心がある」と回答。
- ② 「関心がある」理由は、国際政治・情勢への関心や日本への影響に対する不安、現地市民への憂慮など。他方、「関心がない」理由は、他国には興味がない、自分には関係がない、背景などがよくわからない、など。

## 2 日本の関与

- ① 日本によるロシアへの制裁には、4割弱が「賛成」、2割弱が「反対」。
- ② 日本によるウクライナへの支援には、6割弱が「賛成」。
- ③ 日本へのウクライナ難民受入には、6割以上が「賛成」と回答。

## 3 自分の関与

- ① ウクライナ情勢に関する情報収集、寄付、ボランティア、日本国内への避難者との交流のいずれにおいても、「興味はあるが実施していない」が5～6割。
- ② 他方、「興味を持ち、実施している」人は各1～2割存在し、積極行動派も。

## 4 世界の中の日本

- ① 日本への海外からの難民受入には、約半数が「賛成」、「反対」は15%。
- ② 日本国内で外国人が増えることの影響については、肯定派と否定派が拮抗。
- ③ 世界の平和実現のため、日本が果たす役割が「ある」と回答した人は6割以上。
- ④ 日本が実施すべき他国への支援としては、「復興支援」と「人道支援」が上位。

## 5 属性による差

- ① 男性よりも女性の方が、ウクライナ情勢への日本・自分の関与に関して、自身の態度を明確にしている人が多い傾向にある。
- ② ロシア制裁やウクライナ支援には男性の方が賛成派が多い。他方、ウクライナ・その他難民の国内受入への賛成派は女性の方が多く、反対派は男性が多い。

# 詳細

1. ウクライナ情勢に対する関心と日本の役割
2. ウクライナ情勢に係る自分の役割
3. 世界の中の日本

# 提示文章①

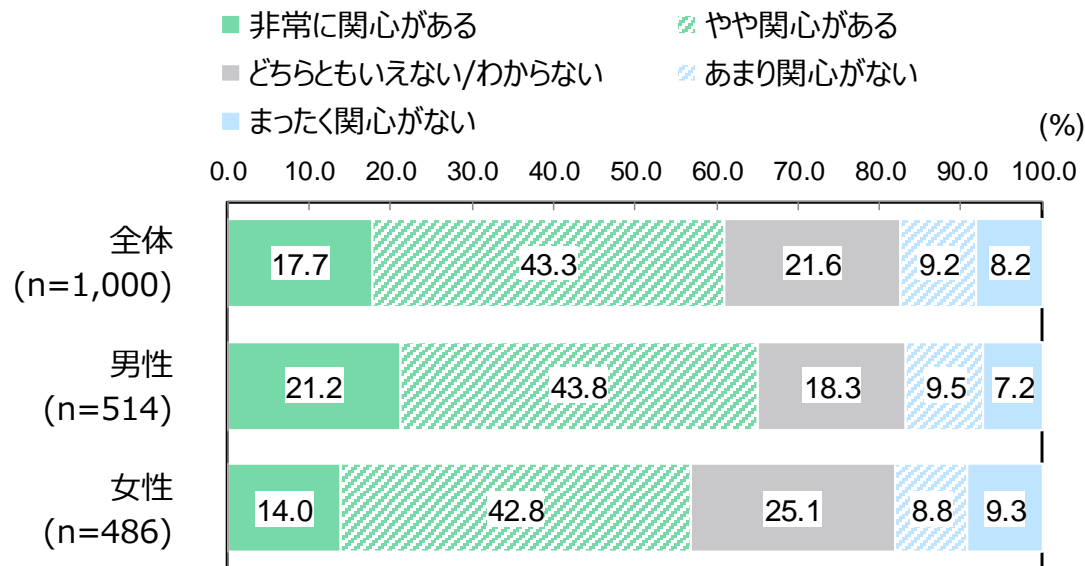
2022年2月24日、ロシアがウクライナへの軍事行動を開始しました。  
本アンケートでは、この軍事行動をめぐる日本の対応に関するあなたの考えや、あなた自身の向き合い方などについてお聞きします。

# ウクライナ情勢に対する関心

全体では、6割以上がウクライナ情勢に「関心がある」(\*)と回答。  
性別では、男性が女性よりも、「非常に関心がある」と回答した人の割合が7.2pt多い。

※「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計。

質問1：ウクライナ情勢に対するあなたの関心度合いを、次の中からお選びください。  
(選択式(単一))



# ウクライナ情勢に対する関心

「関心あり」(※)の理由として、国際政治・情勢への関心、日本との関連・日本への影響が挙げられている。

※「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計。

質問2：質問1と回答した理由を教えてください。(自由記述式、100文字まで)

## 関心あり (n=519) より一部抜粋

### ◆ 国際政治・情勢への関心

- 罪のない子供達が殺されてしまったり、戦争に巻き込まれてしまっていることが可哀想だから。第三次世界大戦が始まってしまうのではないかという不安があるから。今後の世界情勢が気になるから。
- ウクライナとロシアだけの問題でなく、世界のパワーバランスが変わりかねない問題であり、また日本にも物価高騰などの影響が出ているから
- 欧米諸国とロシアの代理戦争になっているため、世界情勢に大きな影響を与えているから
- ロシアとウクライナによる戦争は、ロシアが一方向的に悪いと捉えがちだが、本当にそうなのか。また、他国の支援で武器を送ることは本当に倫理的にあっていいのかなど疑問が多いため

### ◆ 日本との関連・日本への影響

- 日本の安保体制にも関わる問題であるから
- この時代に戦争というものが明確に起きていること自体、とても怖いし、日本とロシアは北方領土の問題で関係が良好では無いので、いつか日本にも矛先が向いてしまうこともあるかもしれないため関心がある。
- 自分に直接命の危険はなくても物価や国の間では世界中に影響があることが報道され続けてたから
- 日本の近くにも中国という大国があり、また当事者であるロシアとも領土問題を抱えているので、もしかしたら「次は私たちかも」と不安にさせられる要素があるから。
- 日本の憲法などを改める機会でもあるから
- 軍事力をもって他国に侵略する行為は許されざる行為であるとともに、日本の防衛戦略を見直す必要性があると感じられたから。
- 他人の事として捉えたくないし、目を背けてはならないと思うから



# ウクライナ情勢に対する関心

ウクライナ情勢に関する情報に触れることを通じて、「戦争」を現実世界で起きているものとして認識することが、関心を喚起していると推察される。

質問2：質問1と回答した理由を教えてください。（自由記述式、100文字まで）

## ◆戦争の現実味

- 戦争が勃発したのを初めてリアルタイムで見て興味を持った戦争だったから。それまではあまり国際情勢に興味がなく、他の国の内戦についても詳しく知らなかったが、今回の戦争は自分で情報を収集しようと思った。
- 戦争という単語に生まれて初めて現実味が出た出来事だったから

## ◆現地市民への憂慮

- 国は違うけどニュースなどを見てウクライナの人が辛そうでこちらもニュースを見て辛く感じてしまう
- 気にはなるけど、あまり見ると平常ではいられないので程々にしている
- 戦争を一刻も早く終わってほしく、甚大な被害を受けているウクライナが心配だから。最近の日本のテレビで取り上げられることが減ってきていて現状が分からず、不安が募っているから。

## ◆戦争反対

- 戦争については広島出身ということでたくさんの授業を受けてきました。そこで戦争が決して行われてはならない行為だと深く考えています。そのため今同じ地球で起こっている戦争には関心があります。
- 私自身テレビやTwitterなど一部のメディアでほんの一部分しか知る事が出来ていないと思うのですが、やはり数ヶ月もの期間、ウクライナへ侵攻を続けているロシアは非人道的だから
- それぞれの主張に興味があるから
- 戦争という形で物事を決めようとしているのがおかしすぎるから。

# ウクライナ情勢に対する関心

学校の授業などでウクライナ情勢についての情報を得たことがきっかけで関心をもった人もいる。

質問2：質問1と回答した理由を教えてください。（自由記述式、100文字まで）

## ◆ 学校等での学び

- 世界史で勉強したから
- 学校の授業で先生が毎週取り上げて説明をしてくれるので、もっと詳しく知りたくなるから。
- 国際法について大学で学んでいるから。
- 学校の授業で、子どもの権利と国際社会というものを学んでいる中で、今起きているウクライナとロシアの戦争について取り上げられていて学んでいるから。

## ◆ その他

- どれだけニュースで報じようと、私たちが語ろうと行動しなければ助けることもできない。だが、宗教や各国の問題に簡単に関与するわけではなく、第三者のように語ることはできないから。
- 好きなYouTuberが在日ウクライナ人だから
- 学校でウクライナ支援街頭募金を行ったから。
- 戦争の顛末がどうなったかが分からないしテレビでも放送しなくなったのでどうなったのか定期的に知りたい

# ウクライナ情勢に対する関心

日本のことには興味があるが他国には興味がない、自分には関係がない、背景などがよくわからない、などが「関心なし」(\*)の理由として挙げられている。

※「まったく関心がない」と「あまり関心がない」の合計。

質問2：質問1と回答した理由を教えてください。(自由記述式、100文字まで)

## 関心なし (n=139) より一部抜粋

### ◆ 日本のことに興味がある (他国のことには興味がない)

- 日本が一番大切だから
- 国際人道支援も悪くはないがまずは国内の『日本国籍を有する』生活困窮者をもっと手厚く保護することを優先すべき
- 日本国外のことよりも国内のことに興味があるから。
- 世界のことに関心がない
- 他国の話で身近な話題でないから

### ◆ 自分には関係がない

- 自分の国に直接関係がある訳では無いから。
- 自分にはあまり関係が無いことだと思うから。よくわからないから。
- 自分に関心がないと思っているから

### ◆ ウクライナ情勢について、よくわからない

- ニュースを見ていて何が行われていて争いになっているのかいまいち分からないから
- 何が原因で始まったものなのがいまいち分からず、理解しようという気にならないから。
- 政治は難しいのでわからない

# ウクライナ情勢に対する関心

また、状況が長期化していることによる関心消失、普段からニュースを見ないこと、ネガティブな理由から関連情報に触れたくない、なども理由として挙がっている。

## ◆ 長期化による影響

- もうさんざん取り扱われてきて飽きてきた
- 戦争が長期化し、日常となっているから。
- テレビで連日のように報道されていたが、もう旬の時期が過ぎたように感じてしまう。遠い国で起きているというような感覚が抜けない。

## ◆ ニュースを見ない

- 普段からニュースを見ていないから
- テレビを見ることがほとんどなく、触れることが少なかったから
- テレビも見ないしスマホのニュースもあまりみないから

## ◆ 考えたくない・聞きたくない

- 怖いから考えたくないです。
- 正直、日本から離れているし日本中だけでも最近暗いニュースばかりだから日本以外の暗いニュースまで聞きたくないから。

## ◆ その他

- 今は悩みが無くても、この先は分かりません。悩みが無いことを楽しんでおいたほうが良いと思います。それまで暇を楽しみたい 悩みが無いのは一時の幸せです。
- 自分の事で精一杯だから
- 直接は自分に関係がないためと、同じ内容の繰り返しを放送しているから。

## 提示文章②

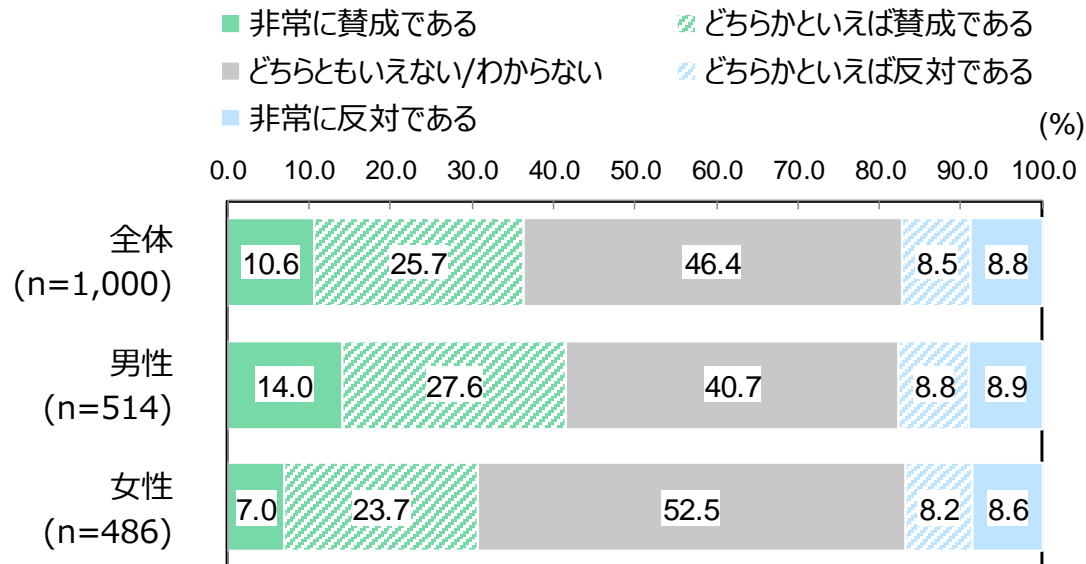
日本は、ロシアによるウクライナへの軍事行動を受け、金融制裁や輸出入規制などの対ロシア制裁を実施しています。

# ロシア制裁への賛否

日本が実施しているロシアへの制裁に対し、全体では4割弱が「賛成」、2割弱が「反対」(\*)。性別では、男性の約4割、女性の約3割が「賛成」、男女ともに2割弱が「反対」。

※「賛成」は「非常に賛成である」と「どちらかといえば賛成である」、「反対」は「非常に反対である」と「どちらかといえば反対である」の合計。

質問3：あなたは、日本が実施しているロシアへの制裁について、どう思いますか。  
(選択式(単一))

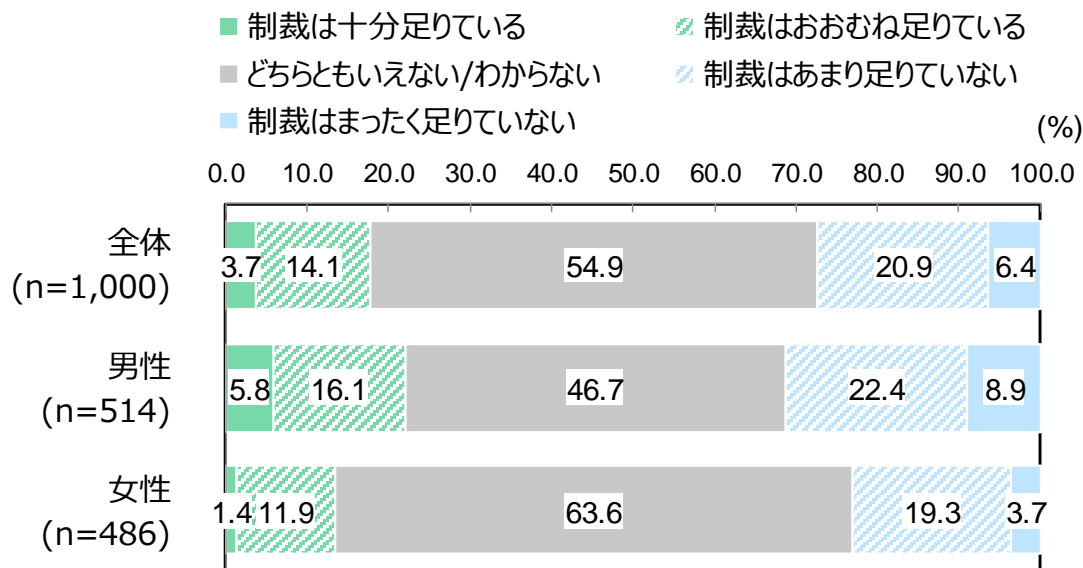


# ロシア制裁への賛否

全体では、3割弱が、日本によるロシアへの経済制裁は「足りていない」と回答。  
性別では、男性は約2割が「足りている」、約3割が「足りていない」であるのに対し、女性は約1割が「足りている」、約2割が「足りていない」と回答。(※)

※「足りている」は「制裁は十分足りている」と「制裁はおおむね足りている」、「足りていない」は「制裁はまったく足りていない」と「制裁はあまり足りていない」の合計。

質問4：あなたは、日本が実施しているロシアへの経済制裁の程度について、どう思いますか。  
(選択式(単一))



## 提示文章③

日本は、ロシアによるウクライナへの軍事行動を受け、ウクライナ及び周辺国に対し保健・医療、食料・食料安全保障、避難民の保護といった人道支援や有償資金協力・無償資金協力といった財政支援などを実施しています。

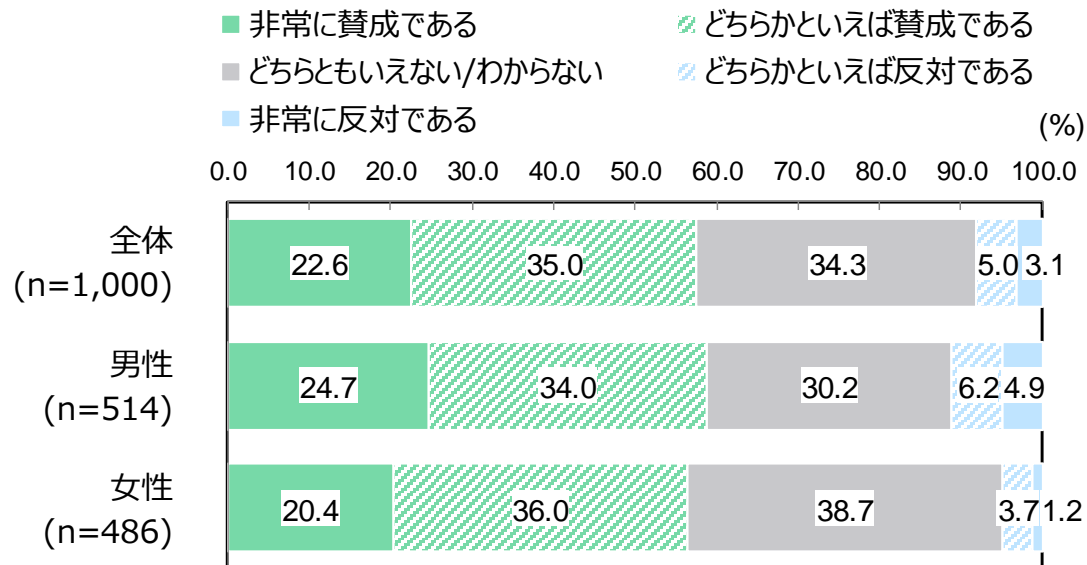


# ウクライナ支援への賛否

日本が実施しているウクライナへの支援について、全体では6割弱が「賛成」。性別では、男女とも「賛成」と回答した人が6割弱を占める一方、「反対」と回答した人は男性で11.1%、女性では4.9%と差が出ている。(※)

※「賛成」は「非常に賛成である」と「どちらかといえば賛成である」、「反対」は「非常に反対である」と「どちらかといえば反対である」の合計。

質問5：あなたは、日本が実施しているウクライナ支援について、どう思いますか。  
(選択式(単一))



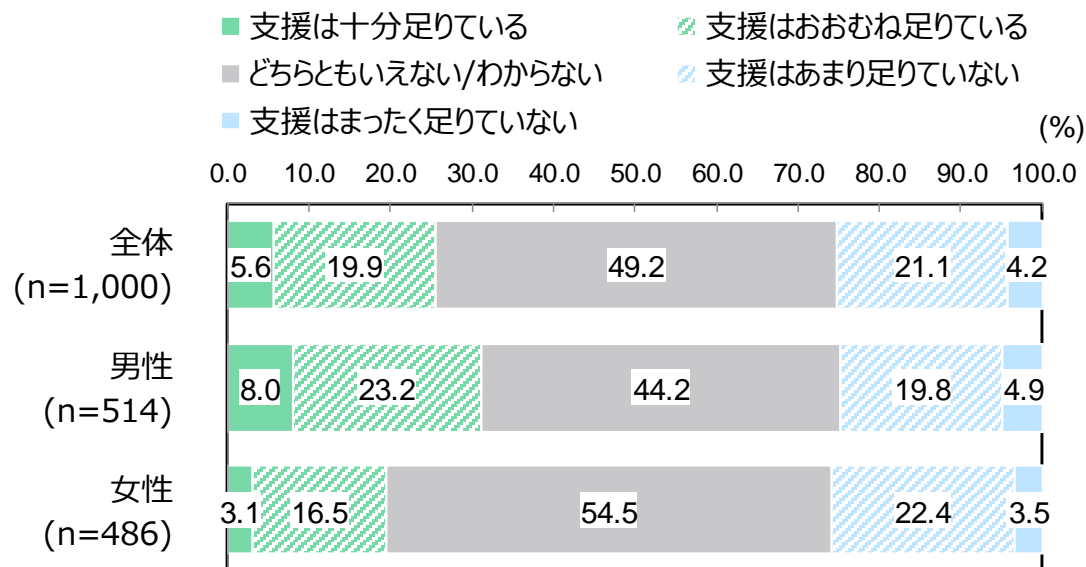
# ウクライナ支援への賛否

日本が実施しているウクライナ支援の程度について、全体では「足りている」と「足りていない」が拮抗。

男性では「足りている」との回答の方が多いのに対し、女性は「足りていない」の方が多い。（※）

※「足りている」は「支援は十分足りている」と「支援はおおむね足りている」、「足りていない」は「支援はまったく足りていない」と「支援はあまり足りていない」の合計。

質問6：あなたは、日本が実施しているウクライナ支援の程度について、どう思いますか。  
（選択式（単一））。



## 提示文章④

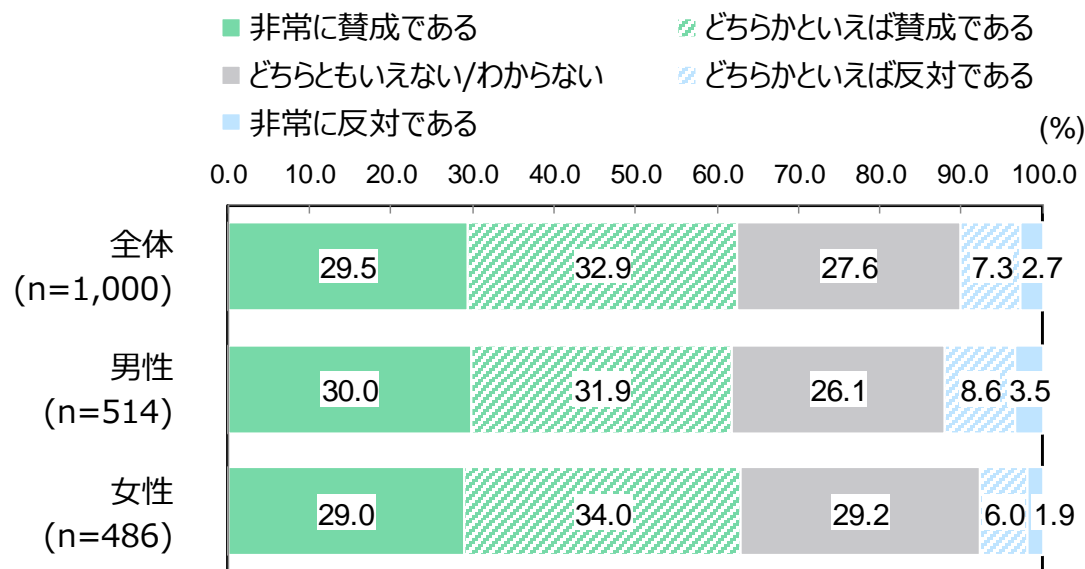
2022年6月26日時点で、日本はウクライナから避難してきた人々（以下、「ウクライナ避難民」と記載）1,375人を国内に受け入れています（出所：出入国在留管理庁）。

# ウクライナ難民受け入れへの賛否

日本がウクライナ難民を受け入れることに対しては、6割以上が「賛成」と回答。「反対」の1割を大きく上回っている（※）。性別でも、概ね同じ傾向が見て取れる。

※「賛成」は「非常に賛成である」と「どちらかといえば賛成である」、「反対」は「非常に反対である」と「どちらかといえば反対である」の合計。

質問7： あなたは、日本が、ウクライナ避難民を受け入れることについて、どう思いますか。  
(選択式(単一))



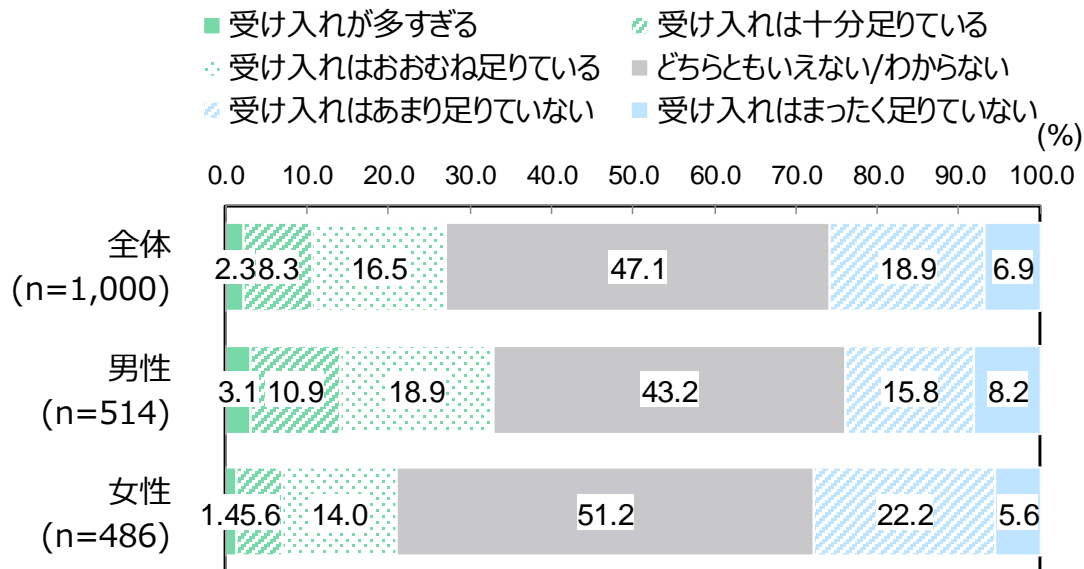
# ウクライナ難民受け入れへの賛否

日本が実施しているウクライナ支援の程度について、全体では「足りている/多すぎる」と「足りていない」が概ね拮抗している。

男性では「足りている」との回答の方が多いのに対し、女性は「足りていない」の方が多い。（※）

※「足りている」は「受け入れが多すぎる」及び「受け入れは十分足りている」、「受け入れはおおむね足りている」の合計、「足りていない」は「受け入れはまったく足りていない」と「受け入れはあまり足りていない」の合計。

質問8：あなたは、日本による、ウクライナ避難民受け入れの程度について、どう思いますか。  
（選択式（単一））



## 提示文章⑤

世界では、ウクライナ侵攻を原因とする避難民以外にも多くの人々が難民としての生活を強いられています。その数は、2021年時点で2,700万人以上にのぼります

（出所：UNHCR）。

難民とは、「紛争に巻き込まれたり、宗教や人種、政治的意見といった様々な理由で迫害を受けるなど、生命の安全を脅かされ、国境を越えて他国に逃れなければならなかった人々」のことを指します（出所：UNHCR協会）。

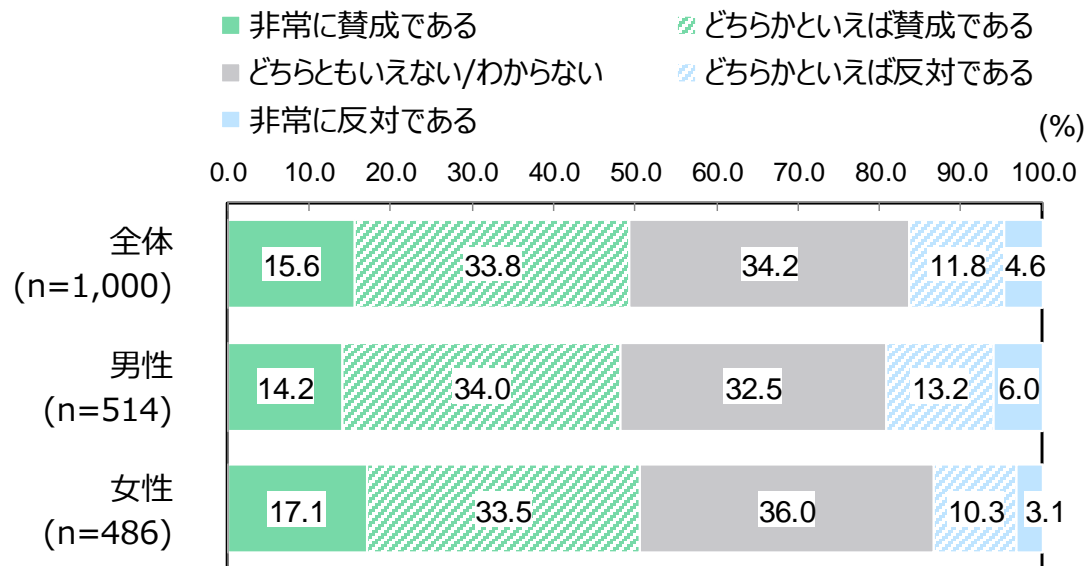
# 難民受け入れへの賛否

全体では、日本が海外から難民を受け入れることについて、約半数が「賛成」と回答する一方、「反対」との回答者も15%以上。(※)

性別では、女性の方が日本への難民受け入れについて「賛成」と回答した人の割合が多い。

※「賛成」は「非常に賛成である」と「どちらかといえば賛成である」、「反対」は「非常に反対である」と「どちらかといえば反対である」の合計。

質問9：あなたは、日本が（ウクライナ避難民以外も含め）海外から難民を受け入れることについて、どう思いますか。（選択式（単一））

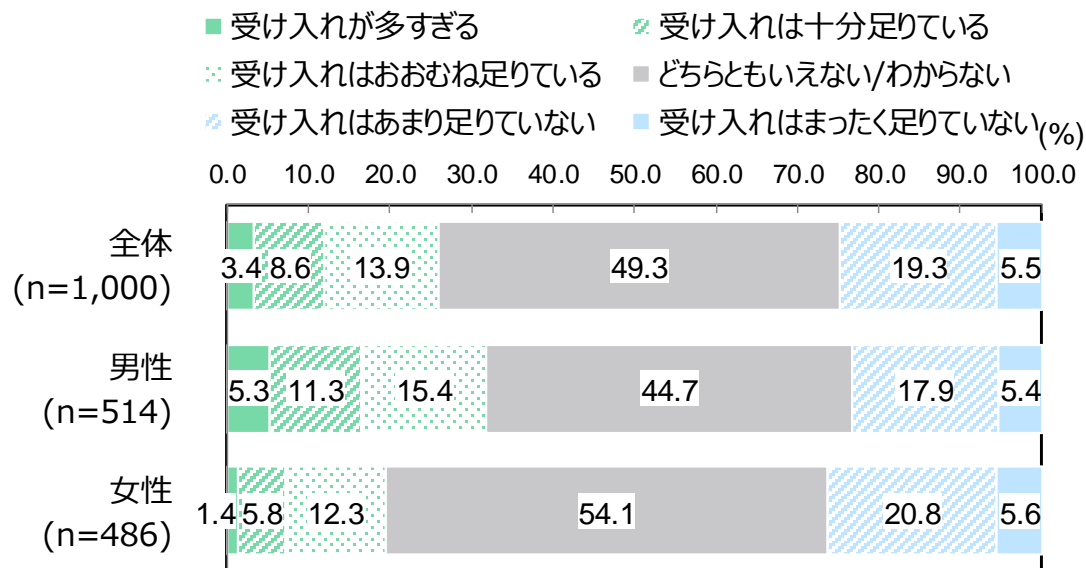


# 難民受け入れへの賛否

海外からの難民受け入れについて、全体では賛否は拮抗している。  
 男性は「多すぎる」または「足りている」と回答した人が3割超と、「足りていない」よりも多い。  
 対して女性は、「足りていない」と回答した人（3割弱）の方が多。 (※)

※「足りている」は「受け入れが多すぎる」及び「受け入れは十分足りている」、「受け入れはおおむね足りている」の合計、「足りていない」は「受け入れはまったく足りていない」と「受け入れはあまり足りていない」の合計。

質問10：あなたは、日本による（ウクライナ避難民以外も含む）海外からの難民受け入れの程度について、どう思いますか。（選択式（単一））





## 提示文章⑥

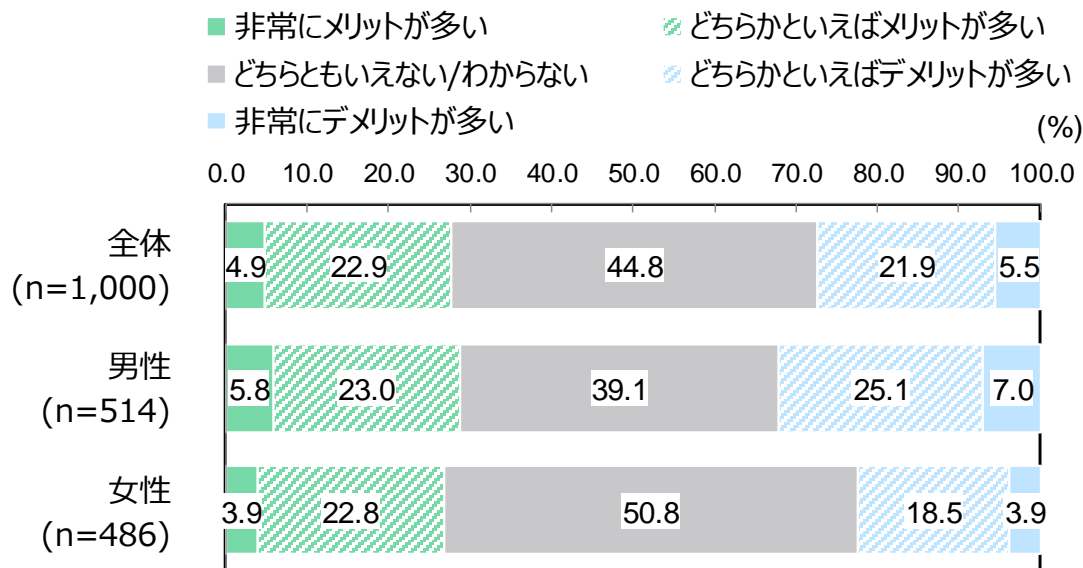
日本における外国人の数は年々増加しており、2021年時点で、280万人以上の在留外国人が住んでいます（出所：出入国在留管理庁）。

# 外国人が増えることの影響への考え

日本国内で外国人が増えることの影響について、全体では賛否が拮抗。性別では、男性は「デメリットが多い」との回答の方が「メリットが多い」よりも多く、女性は逆である。(※)

※ 「メリットが多い」は「非常にメリットが多い」と「どちらかといえばメリットが多い」、「デメリットが多い」は「非常にデメリットが多い」と「どちらかといえばデメリットが多い」の合計。

質問11：あなたは、日本国内で外国人が増えることの影響について、どのように考えますか。  
(選択式(単一))



- 
1. ウクライナ情勢に対する関心と日本の役割
  2. ウクライナ情勢に係る自分の役割
  3. 世界の中の日本

# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動

ウクライナ情勢に関する情報収集は2割超、寄付は1割超の人が実施しており、ボランティアや日本国内への避難者との交流も5～6%の人が実施したことがあると回答。

質問12：あなたは、ウクライナ情勢に関連して、以下の活動にどの程度興味がありますか。それぞれの項目について、一つだけ選んでください。（SAMATRIX - 項目ランダム表示）

全体 (n=1,000)

- 興味があり、実施している
- 興味はあるが、実施していない
- 興味がなく、実施したいと思わない (%)

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0



※1 本アンケートにおいて寄付とは、①支援団体や企業などを通じた金銭の寄付、②クラウドファンディングを通じた寄付、③現地の人々への直接的な金銭の寄付、④チャリティー商品の購入、と定義します。

※2 「興味があり、実施している」の比率の高い順に掲載。

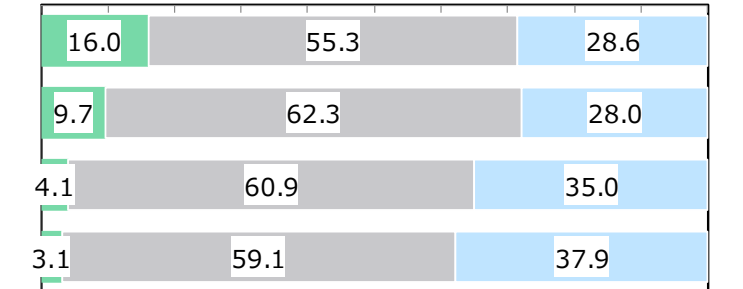
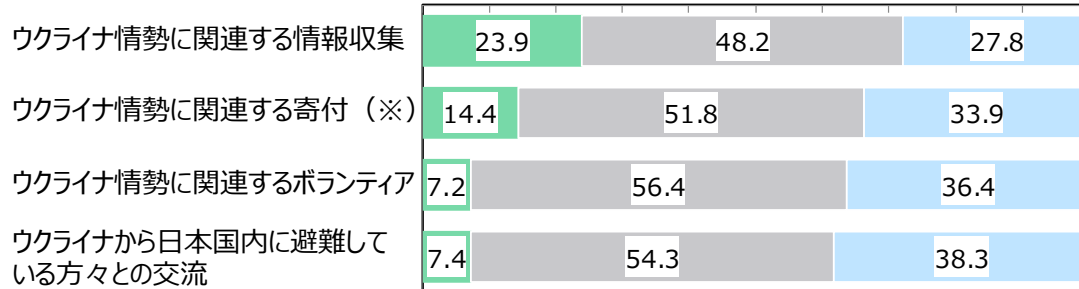
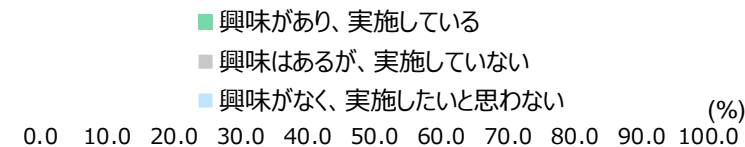
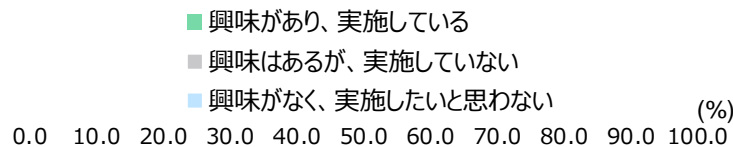
# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動

ウクライナ情勢に関する情報収集、寄付、ボランティア、日本国内への避難者との交流のいずれにおいても、男性の方が女性よりも興味を持ち、行動している人の割合が多い傾向にある。女性は興味を持っている人は男性よりも多いが、行動には至っていない人が多い傾向にある。

質問12：あなたは、ウクライナ情勢に関連して、以下の活動にどの程度興味がありますか。それぞれの項目について、一つだけ選んでください。（SAMATRIX - 項目ランダム表示）

男性 (n=514)

女性 (n=486)



※1 本アンケートにおいて寄付とは、①支援団体や企業などを通じた金銭の寄付、②クラウドファンディングを通じた寄付、③現地の人々への直接的な金銭の寄付、④チャリティー商品の購入、と定義します。

※2 「興味があり、実施している」の比率の高い順に掲載。

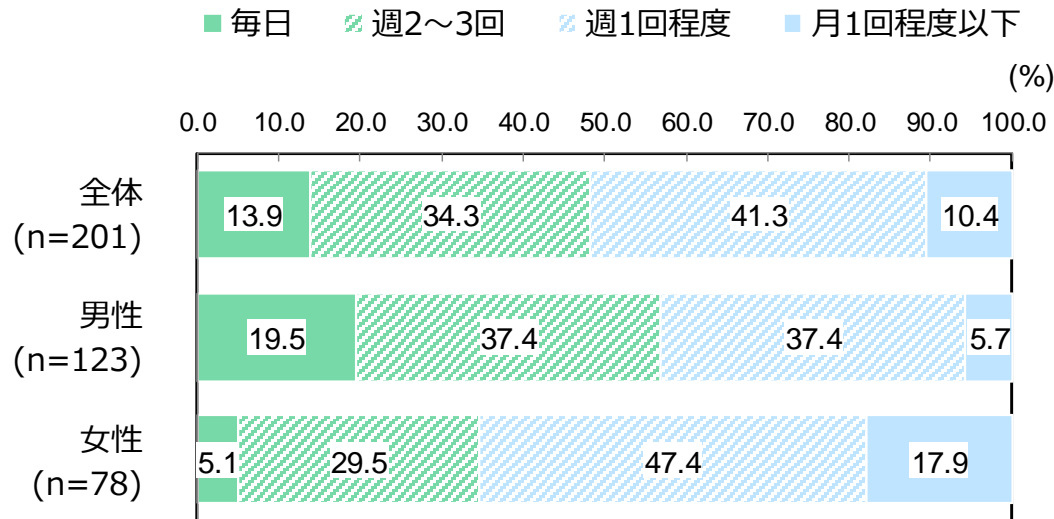
# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動 情報収集意欲・行動

ウクライナ情勢に関する情報収集を行っている人のうち、半数近くが週2～3回以上の頻度で実施。特に男性では情報収集の頻度が高い傾向にある。

質問13：あなたは、どの程度の頻度で情報を収集していますか。（選択式（単一））

※質問12で「興味があり、実施している」と回答した人のみ回答

(n=201)

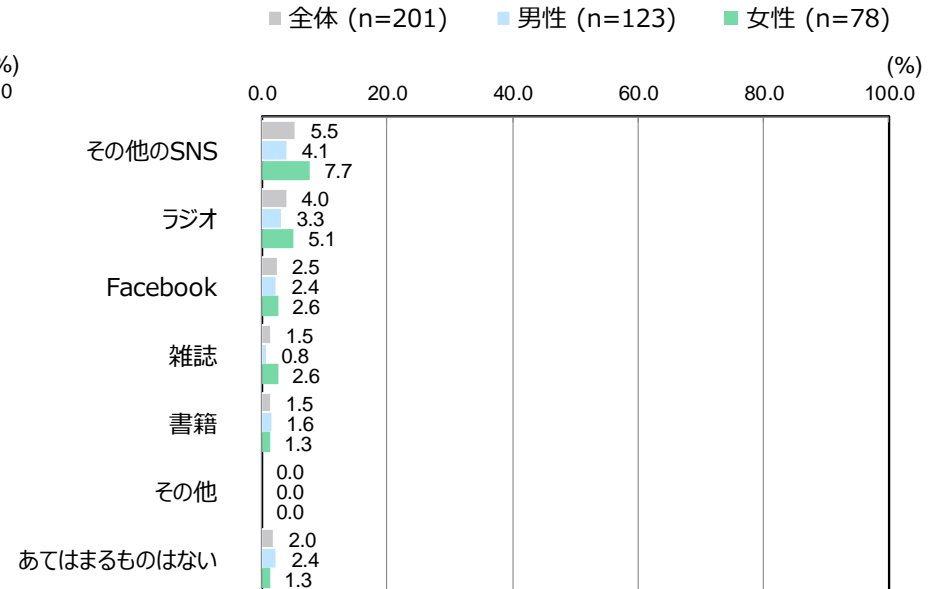
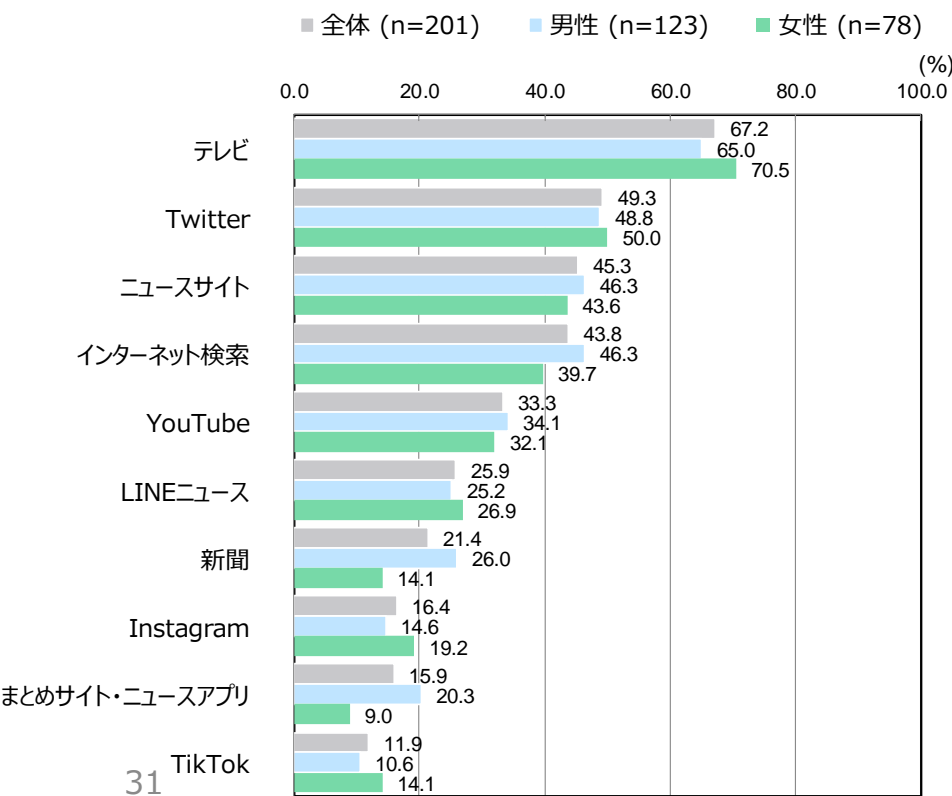


# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動 情報収集意欲・行動

男女ともに、ウクライナ情勢に関する情報収集の手段として、もっともよく利用されているのはテレビ。Twitter、ニュースサイト、インターネット検索が続く。

質問14：ウクライナ情勢に関する情報収集のためによく利用する情報収集の手段は次のうちどれですか。（選択式（複数）+自由記述式）

※質問12で「興味があり、実施している」と回答した人のみ回答



# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動

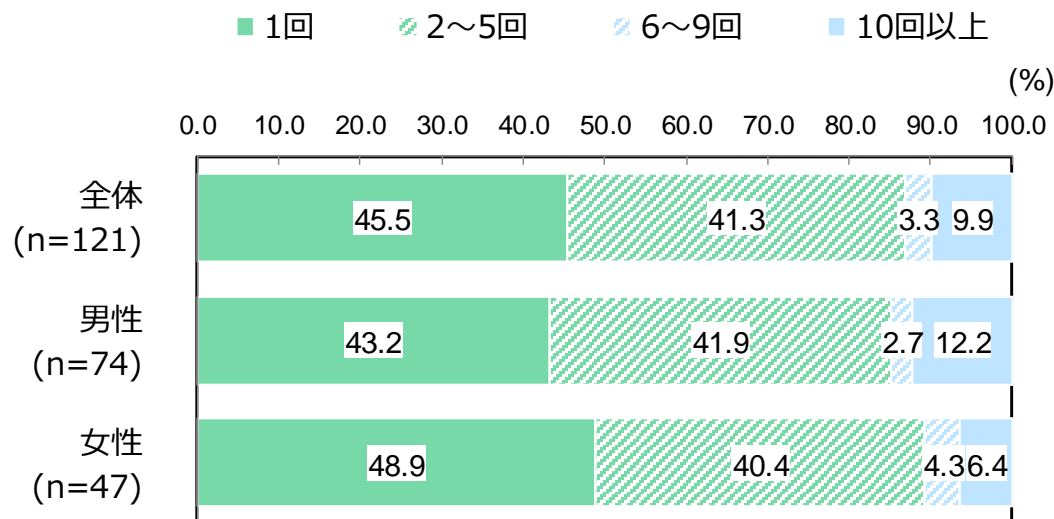
## 寄付意欲・行動

ウクライナ情勢に関連して寄付を行ったことがある人のうち、男女いずれも、複数回の寄付を行った人が半数以上を占めている。男性では10回以上の寄付を行った人も1割以上存在。

質問15：あなたは、ウクライナ情勢に関連して、これまでに何回の寄付をしましたか。

(選択式(単一) + 自由記述式)

※質問12で「興味があり、実施している」と回答した人のみ回答



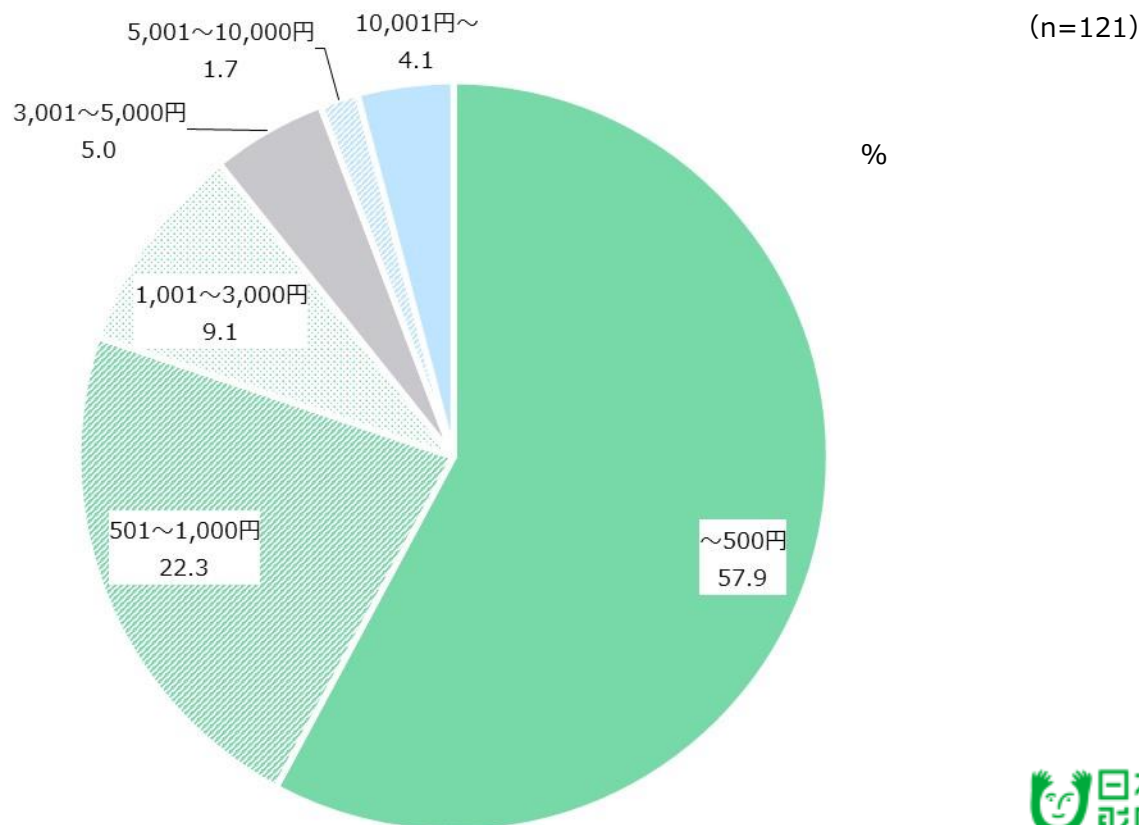


# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動 寄付意欲・行動

寄付の合計金額は1,000円以下が約8割。

質問16：あなたは、ウクライナ情勢に関連して、どの程度の金額の寄付をしましたか。合計金額を教えてください。（選択式（単一））

※質問12で「興味があり、実施している」と回答した人のみ回答

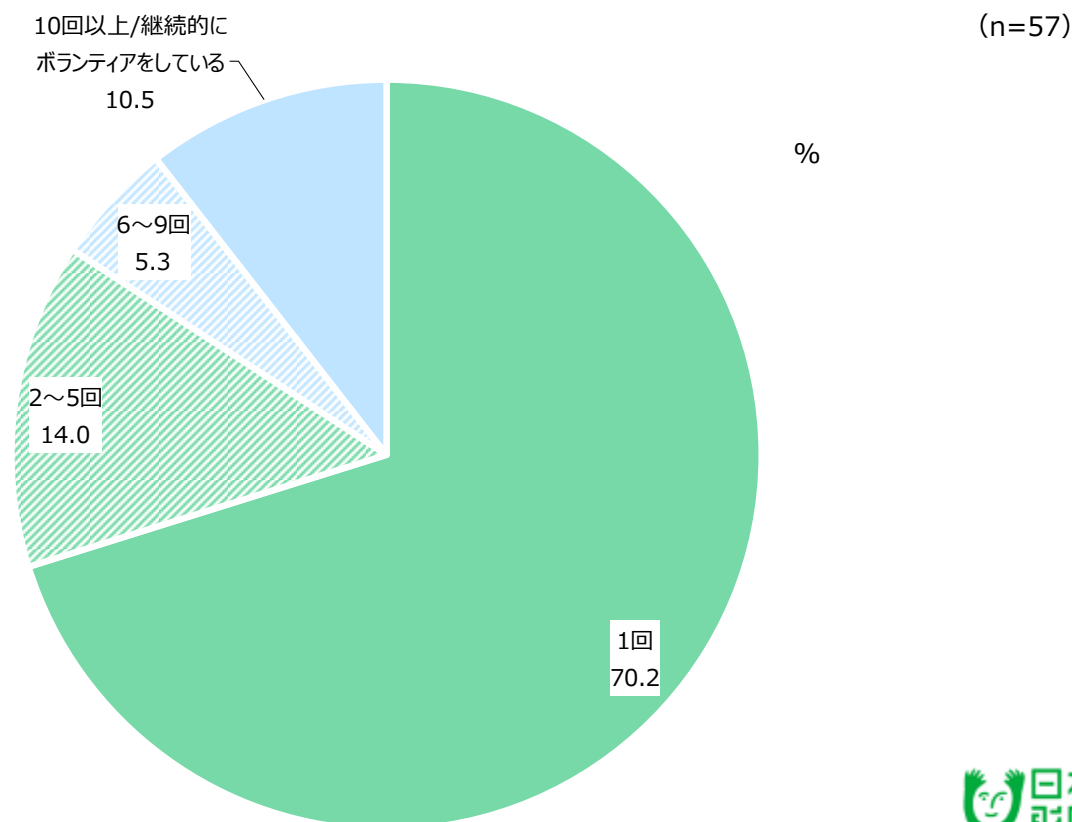


# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動 ボランティア活動参加意欲・行動

ウクライナ情勢に関連してボランティアを行ったことがある人のうち、約3割の人は複数回にわたりボランティアを行っている。

質問17：あなたは、ウクライナ情勢に関連して、何回くらいボランティアをしたことがありますか。  
(選択式(単一))

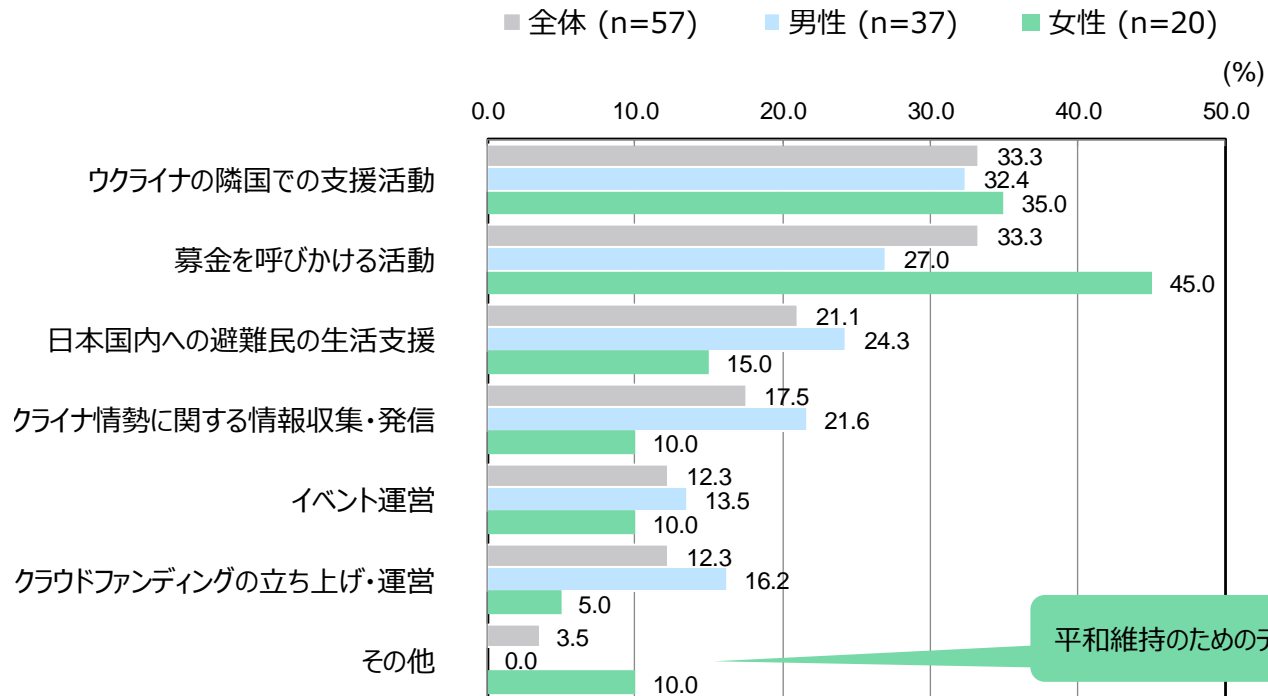
※質問12で「興味があり、実施している」と回答した人のみ回答



# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動 ボランティア活動参加意欲・行動

全体では、ウクライナ情勢に関連してボランティアを行ったことがある人のうち、ウクライナ隣国での支援活動や、募金を呼びかける活動に従事したと回答した人が各3割程度。男性では「ウクライナ隣国での支援活動」、女性では「募金を呼びかける活動」が最多。

質問18：あなたが行ったボランティアは次のうちどれですか。（選択式（複数）＋自由記述式）  
※質問12で「興味があり、実施している」と回答した人のみ回答

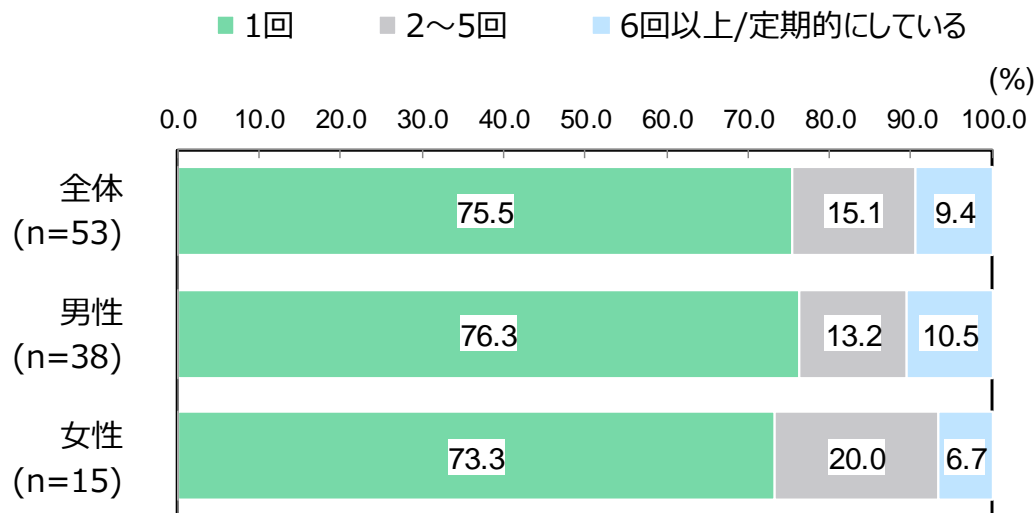


# ウクライナ情勢に関する行動意欲・行動 人的交流意欲・行動

全体では、ウクライナから日本国内に避難している方々と交流したことがある人のうち、4人に1人は複数回交流している。男女とも同じ傾向が見られる。

質問19：あなたは、ウクライナから日本国内に避難している方々と、何回くらい交流をしましたか。  
(選択式(単一))

※質問12で「興味があり、実施している」と回答した人のみ回答



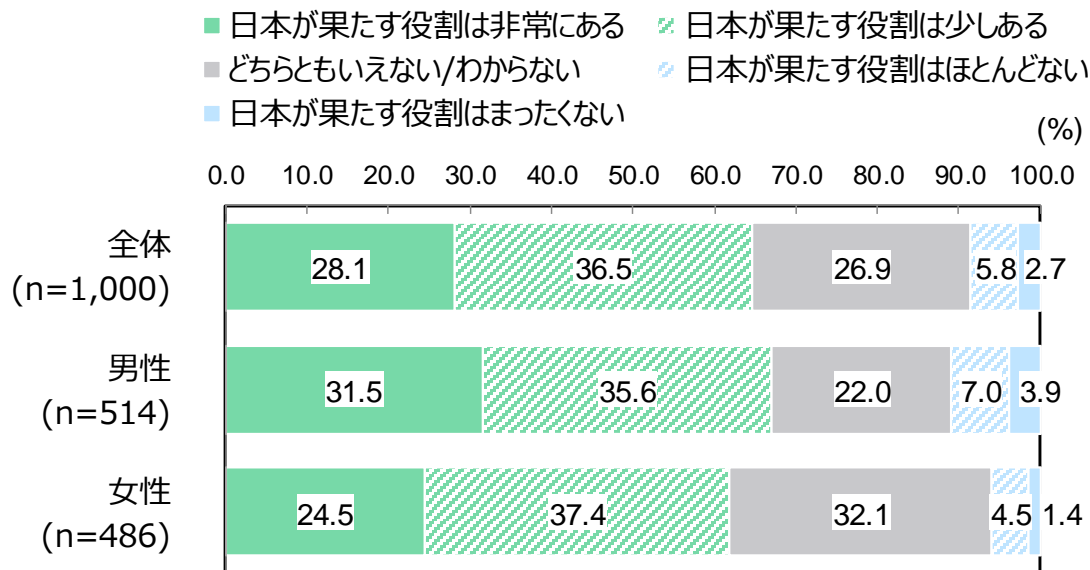
- 
1. ウクライナ情勢に対する関心と日本の役割
  2. ウクライナ情勢に係る自分の役割
  3. 世界の中の日本

# 平和構築に向けた諸外国との連携への考え

世界の平和を実現するために、日本が果たす役割が「ある」と回答した人は男女とも6割以上。(※)

※「ある」は「日本が果たす役割は非常にある」と「日本が果たす役割は少しある」の合計。

質問20：世界の平和を実現するために、日本が果たす役割はどの程度あると思いますか。  
(選択式(単一))

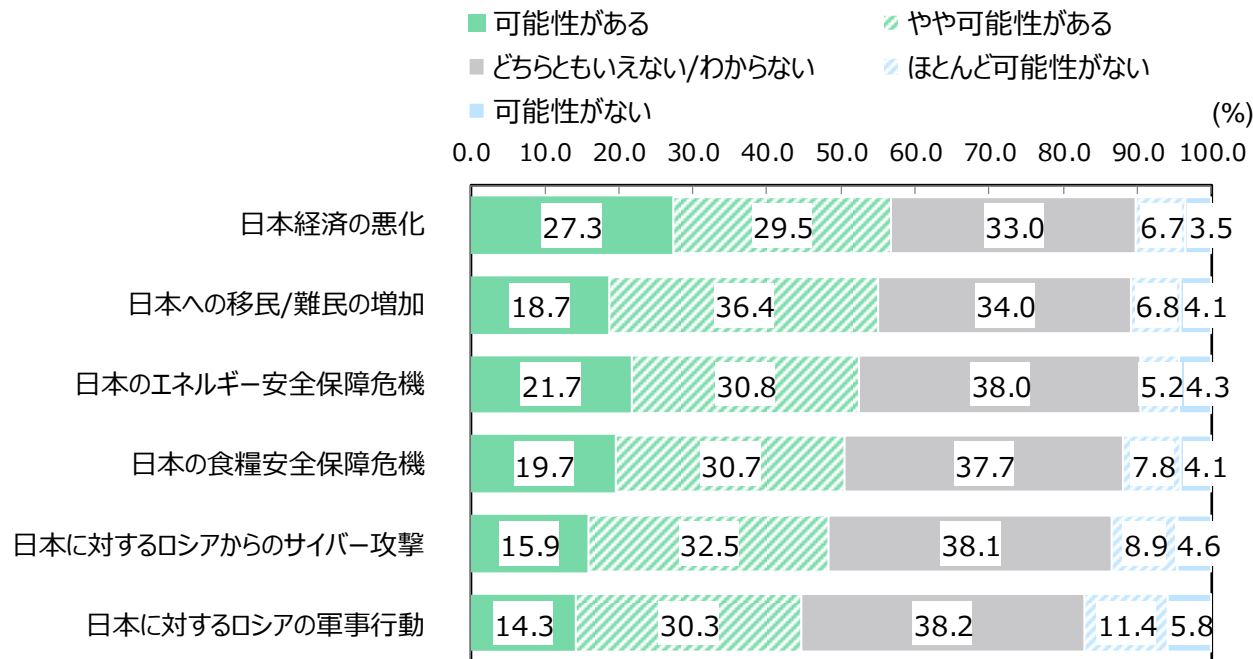


# ウクライナ情勢による日本への影響認識

ウクライナ情勢による日本への影響として、全体では、「経済の悪化」、「移民/難民の増加」、「エネルギー保障危機」の順に「可能性がある」と回答した人が多い。

質問21：あなたは、ウクライナ情勢の影響により、以下の脅威が起こる可能性はどの程度あると考えますか。それぞれの項目について、一つだけ選んでください。（SAMATRIX - 項目ランダム表示）

全体 (n=1,000)



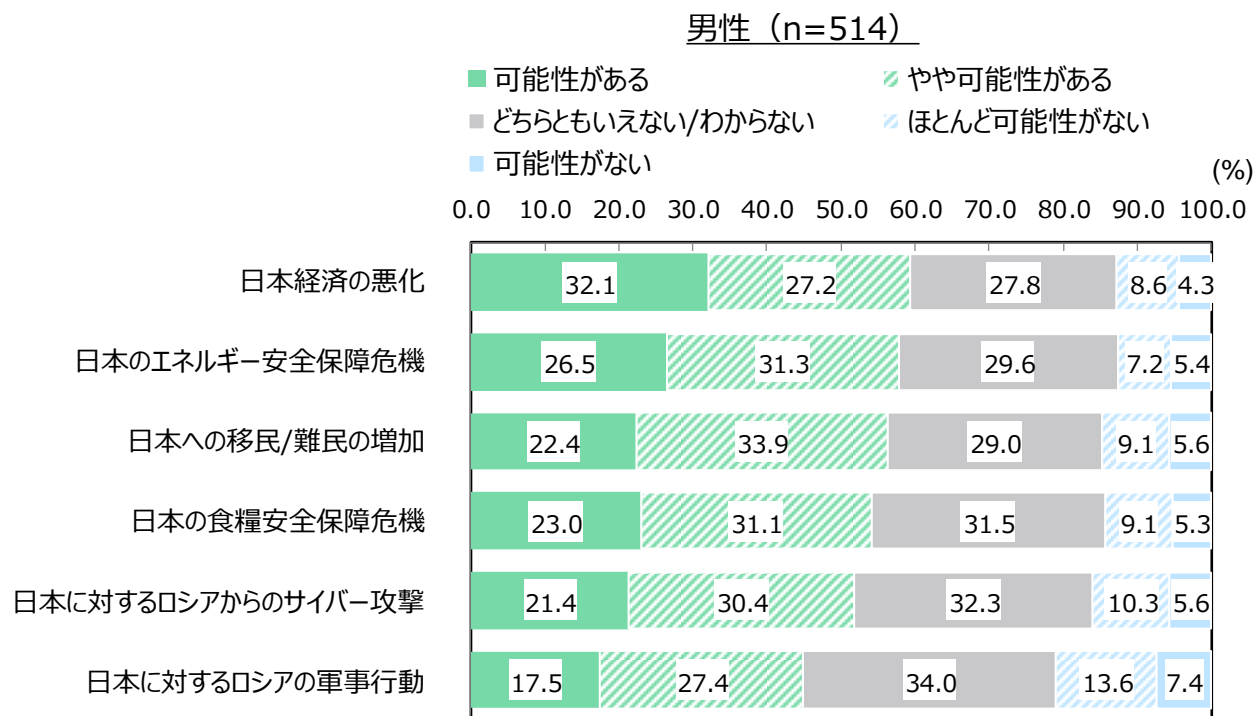
39 ※ 「可能性がある」（「可能性がある」と「やや可能性がある」の合計）の比率の高い順に掲載。

# ウクライナ情勢による日本への影響認識

ウクライナ情勢による日本への影響として、男性では、「経済の悪化」、「エネルギー保障危機」、「移民/難民の増加」の順に「可能性がある」(\*)と回答した人が多い。

※「可能性がある」は「可能性がある」と「やや可能性がある」の合計。

質問21：あなたは、ウクライナ情勢の影響により、以下の脅威が起こる可能性はどの程度あると考えますか。それぞれの項目について、一つだけ選んでください。(SAマトリクス - 項目ランダム表示)



40 ※ 「可能性がある」(「可能性がある」と「やや可能性がある」の合計) の比率の高い順に掲載。



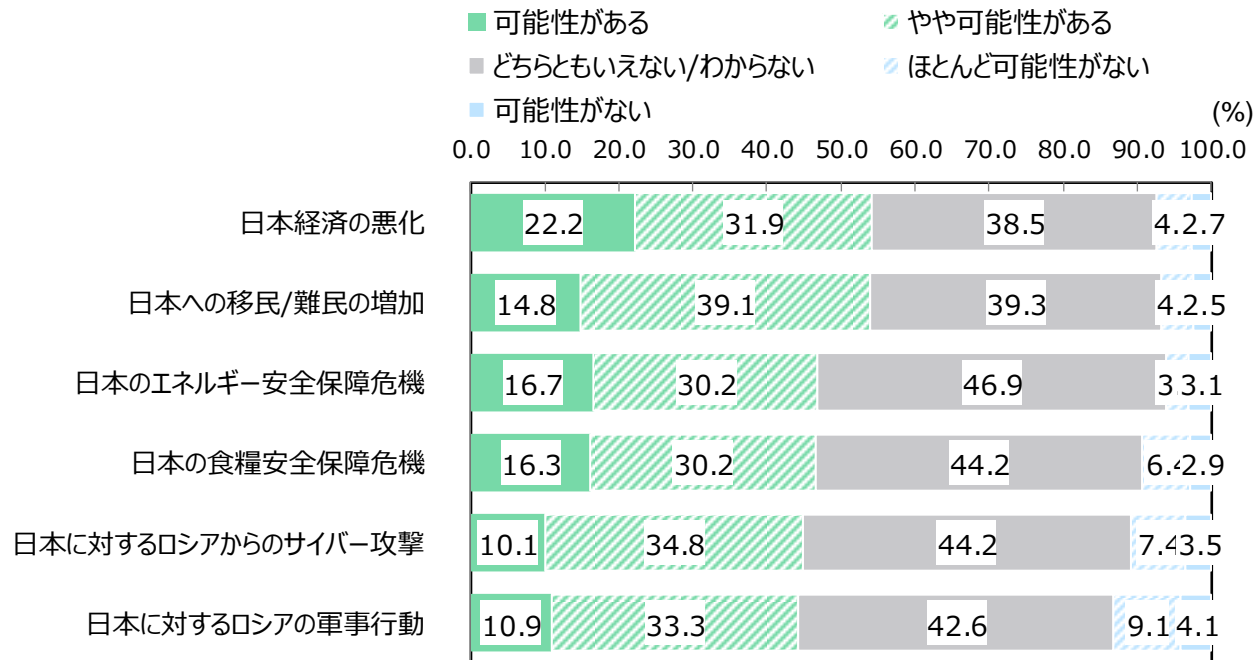
# ウクライナ情勢による日本への影響認識

女性では、「経済の悪化」、「移民/難民の増加」、「エネルギー保障危機」の順に「可能性がある」(\*)と回答した人が多く、男性とトップ3の順位が異なる。

※「可能性がある」は「可能性がある」と「やや可能性はある」の合計。

質問21：あなたは、ウクライナ情勢の影響により、以下の脅威が起こる可能性はどの程度あると考えますか。それぞれの項目について、一つだけ選んでください。(SAマトリクス - 項目ランダム表示)

女性 (n=486)

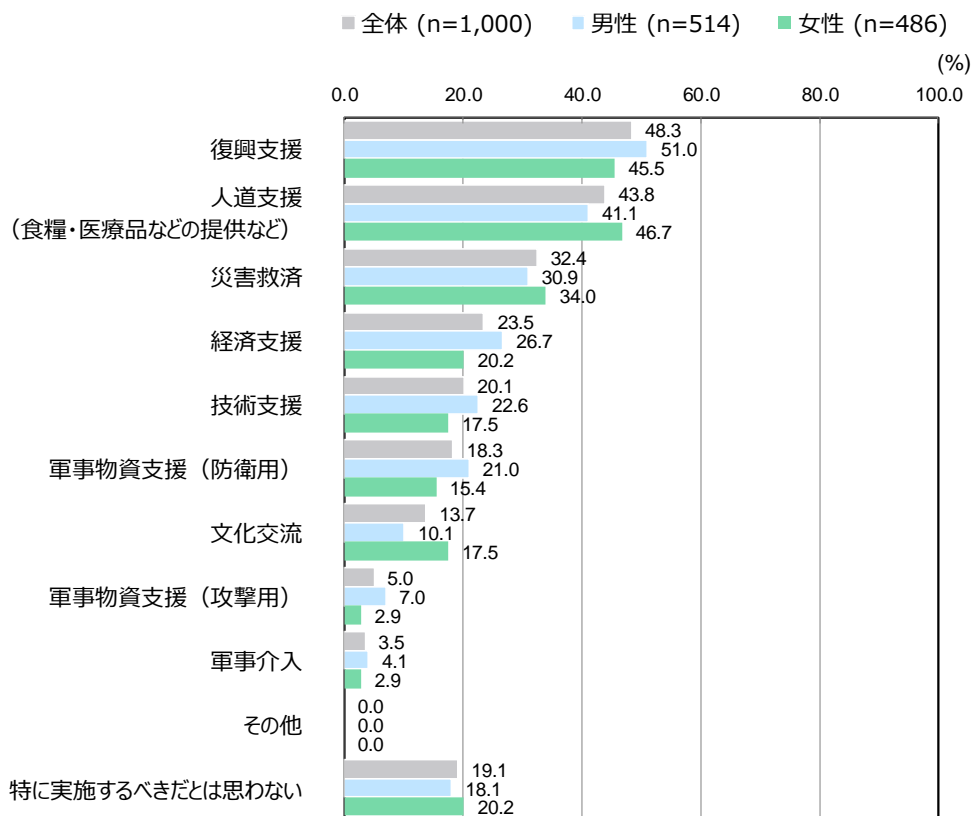


※ 「可能性がある」(「可能性がある」と「やや可能性はある」の合計) の比率の高い順に掲載。

# 日本による他国支援への考え

日本が実施すべき他国への支援内容としては、「復興支援」と「人道支援」が上位。「軍事物資支援（攻撃用）」や「軍事介入」など軍事関連の支援を回答した人は少数。

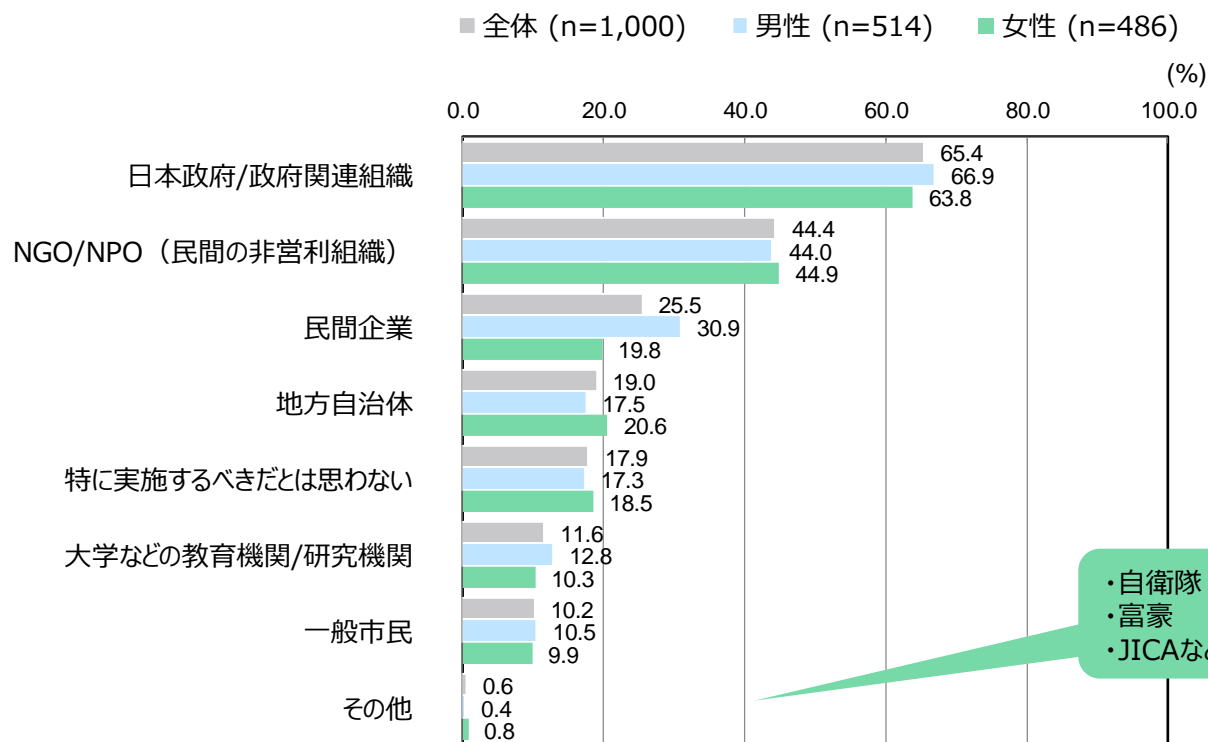
質問22：日本が他国に対する支援を実施する場合、あなたは、どの分野で日本が支援を実施すべきだと思いますか。次の中から三つまで選んでください。（選択式（複数＋自由記述式、3つまで））



# 日本による他国支援への考え

日本が他国に対する支援を行う場合、中心になるべき存在として、男女ともにもっとも多く挙げられたのは政府（男性約7割、女性約6割）。男女とも4割以上の人々がNGO/NPOを政府の次に挙げている。

質問23：日本が他国に対する支援を行う場合、誰が中心になって、支援を実施するべきだと思いますか。次の中から三つまで選んでください。（複数+自由記述式、3つまで）



# 第47回18歳意識調査「ウクライナ情勢」 示唆



## 多文化共生意識

多様性の推進を支持する傾向にある世代であり<sup>(注1)</sup>、日本国内への難民受入についても、他世代と比較すると若者の方が肯定派が多い可能性がある。例えば内閣府の世論調査では、国内への難民受入に対し、全体では慎重派が6割弱という結果<sup>(※2)</sup>。



## デジタルツールの 影響

情報収集手段を見ると、テレビが第1位ではあるものの、Twitterがテレビに肉薄し新聞を大きく引き離すなど、SNSを中心としたインターネットメディアが目立つ。外交や国際情勢についても、インターネットが若者の主要な情報源の一つとなっている実情がうかがえる。



## リーダーシップ/ オーナーシップ

ウクライナ隣国でのボランティアや募金活動など、積極的な関与が必要な行動を行っている人が一部存在。インターネット社会において多様な情報や機会に触れ、自ら行動を起こせる環境で育ったことが影響している可能性があるのではないか。



## 平和探求

世界の平和実現に向けた日本の貢献方法として、平和的支援方法が上位。また支援の担い手としてNGO・NPOへの期待が政府に次いで高い。各国政府や多様なプレーヤーと連携し、平和的手段による課題解決を行うことへの共感度が高い可能性がある。

※1 出所：日本財団「ダイバーシティ&インクルージョンに関する意識調査」([https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2021/11/new\\_pr\\_20211130\\_1.pdf](https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2021/11/new_pr_20211130_1.pdf))

※2 出所：内閣府「令和元年度 基本的法制度に関する世論調査」(<https://survey.gov-online.go.jp/r01/r01-houseido/index.html>)